

序

論

序論の概要図

基本前提

久留米広域合併協議会は、新たなふるさとづくりを目的に協議をはじめた
新たなふるさとづくりを進めるにあたっての基本前提としては、
21世紀の都市づくりを取り巻く環境変化への対応
久留米広域合併任意協議会の協議を継承しながらも、新たな構成自治体
によるふるさとづくりの提唱

合併の意義

地方自治のあり方が大きく変化している
国と地方の役割分担の明確化と団体自治の確立に向けての制度改革
住民自治充実に向けての住民意識の変化と制度改革の動き
地方自治の変化に対応し、新たなふるさとづくりの舞台づくりが求められている

都市経営の確立

都市づくりのあり方の抜本的転換
与えられてきた都市づくりから自立する都市づくりへ
地方が知恵と実行力で自己決定・自己責任を担う経営構造の確立

行財政基盤の確立

住民に一番身近な行政として、住民ニーズに対応できる能力の向上
総合的な行政能力の向上
厳しい地方財政に対応できる財政運営

新市としての将来の発展性
～地域資源と地域特性を活かし、新しい枠組みと新しい発想の都市づくりへ

生活圏としての一体性

歴史的な生活圏の一体性
文化的な生活圏の一体性
地勢的な生活圏の一体性
日常の実態的な生活圏の一体性

組織要員の状況
直接部門と間接部門の職員の状況
専門的組織の設置状況
財政の状況
合併しなかった場合の財政状況
合併した場合の財政状況

通勤・通学の状況
通勤・通学者の依存状況
商圈や買い物行動の状況
吸引率や来街者状況
自治体の成立過程
市・町の成立経過

新市建設計画
策定方針

合併市の建設を総合的かつ効果的に推進
するための計画 = 新市建設計画

対象期間は合併後
10年間(5年目見
直し)

計画の性格は、ハード・ソフトを含む計画 合理的
で健全な行財政に裏付けられた計画 一体性を確立す
る計画 地域全体のレベルアップを図る計画

対象地域は
1市4町

新市建設計画策定方針
合併効果が十分に発揮できる計画
総合性と戦略性を基調とした計画

総合計画との関係
継承する
新たな構成自治体による都市づ
くりにあたっての重要な一部

新市まちづくり構想との関係
基本的に継承する
建設計画の性格・目的に応じて
作成する